

沖島移住白誌



こんな暮らしがここにあったのか。

ADMISSION FREE

Life on an island in Lake Biwa.

1.5km offshore, 6.8km circumference, 1.53 km² area

We have been alive with Lake Biwa even in the past, now, and in the future.

沖島町地域おこし協力隊卒業展

会場 / 滋賀県近江八幡市沖島町

沖島漁業会館 右横道挟む 作業所倉庫 2F 左奥 (沖島港より徒歩2分)

沖島移住日誌

ADMISSION
FREE

開 場 日

February

2月25日(土) 11:00-16:00
2月26日(日) 11:00-16:00
2月27日(月) 11:00-16:00

March

3月01日(水) 11:00-16:00
3月04日(土) 11:00-16:00
3月05日(日) 11:00-16:00
3月06日(月) 11:00-16:00
3月08日(水) 11:00-16:00
3月11日(土) 11:00-16:00
3月12日(日) 11:00-15:00

“近江八幡市 沖島町地域おこし協力隊卒業展”



主催 川瀬 明日望 kawase asumi



OKISHIMA.TEX.MEX

- お問い合わせ -

Tel / 050-3749-1993

Mail / biwakoto.tapas12@gmail.com

Instagram / okishima.tex.mex (DM)

詳細や更新情報はインスタグラムに投稿していきます。

2023年2月で地域おこし協力隊の任期満了を迎えます。それに伴い、今まで沖島暮らしの広報活動、記録で使用してきた写真や映像作品の展示を行います。ここで暮らす事で見えた日常の魅力や島から見る琵琶湖。多くの人に見せたい世界が確かに此処にはありました。

この企画と合わせ沖島の移住体験にフォーカスした小冊子「沖島移住日誌」の制作も行いましたので会場にて配布します。いつか訪れる、新たな島の仲間が手にしてくれる事を想って編集致しました。

< TOPICS > 沖島の暮らしや素材をテーマに創作活動をするゲストも展示にお呼びしました。



沖島文庫

高木里美

沖島で過ごした時間や、その時眺めた風景や聞いた言葉の記憶を綴った冊子「対岸への頼り」を制作。文章とイラストで沖島の暮らしを届ける。



もんであみ

安村桃子

沖島で廃棄となった漁師の網を再生させ、新たなファッションの価値観を生み出すトートバッグを制作。漁師の網から作った糸を素材に長浜市の網織紬の技法と融合させた。

会場

(沖島港より徒歩2分)



おきしま通船ご利用下さい

沖島漁業会館 右横道挟む
作業所倉庫2F 左奥入り口より



<滋賀県近江八幡市沖島への
アクセス方法はこちら